

技術士 2 次試験に合格して



藤井 貴弥

(ふじい たかや)

勤務先

日本データサービス株式会社

企画部 地域計画課

〒065-0016 札幌市東区北 16 条東 19 丁目 1-14

TEL 011-780-1111 FAX 011-780-1123

E-mail t-fujii@ndsinc.co.jp

■ 専門：建設部門(都市及び地方計画)

総合技術監理部門(建設-都市及び地方計画)

1. 自己紹介と技術士の関わり

私は 1986 年生まれの 35 歳で、二児(3 歳と 0 歳兄弟)のパパ技術者です。この原稿を書きながら、少し前まで 20 代だったのに気づけばなかなかオジさんになったものだと感じているところです。

技術士との関わりについては、JABEE 認定のない大学(学科)出身なので、一次試験から受験し、28 歳で技術士補になりました。その後、31 歳で建設部門、34 歳で総合技術監理部門(以下、「総監」といいます。)に合格しました。

関連して、技術士補になった 28 歳から青年技術士交流委員会(以下、「青技交」といいます。)に加入し、3 年前から副委員長を務めさせていただいています。青技交では、全国の青年技術士との交流をはじめ、様々なイベントに参加させていただいており、とても楽しく充実した技術者ライフを送らせてもらっています。

2. 技術士試験について

ここでは、総監を受験したときの体験について、少し触れさせていただきます。

まず、受験の動機ですが、これといったものはありません。直属の上司や、仲良くしていただいている青技交の先輩方に総監保有者が多かったこともあり、「そのうち取らなければいけないもの」と漠然と思っていたのが正直なところです。

ただ、私と直属の上司(青技交 OG の N 元委員長)の間では、上司が取得した年齢になるまでに自分も取得しなければいけないという、なかなかスパルタなルールがあり、総監については 34 歳が初受験にして既にタイムリミットでした(建設部門は上司と同じ 31 歳で取得してギリギリセーフ)。

さらに、総監を受験した年の 12 月には次男が産まれる予定で、今回合格できないと来年はさらに勉

強時間の確保が難しくなる状況でもありました。

そのような背景があり、遊び盛りの長男の対応をしつつ、仕事と育児の隙間時間を探しながら、効率的に合格に近づくための勉強方法を模索するのに必死だった記憶があります。とはいえ、実際には隙間時間なんてそうそうなくて、一部門目の受験時と比較すると、対策に費やせた時間はかなり少なかった(体感的には半分以下)と思います。

一方で、受験時点の私は個別業務の管理技術者こそ経験があるものの、管理職でもなく、俯瞰的なマネジメントの考え方がほぼ身につけていない状態でした。そんな中で市販の参考書や sukiyaki 塾、YouTube(技術士総監チャンネル)、上司・青技交の先輩方から必死に知識を吸収して、なんとか試験にこぎつけました。

筆記試験当日は、青技交の仲間複数名と同じ会場だったこともあり、落ち着いて受験することができました。その後の口頭試験についても、熱心かつスパルタな指導のおかげで、比較的余裕を持って受験することができました。

今思い返すと、sukiyaki 塾セミナーへの参加や、上司・青技交の先輩方からリアルなアドバイスをいただくなど、内にこもった試験対策にならないように意識して取り組んだことが、短期間での合格に結びついた主たる要因ではと感じています。

3. 今後の意気込み

一部門目の取得時と同様ですが、資格取得がスタートと考えて、日々自身の研さんに努めたいと思います。また、総監の受験対策で得た知識を同僚や後輩に意識的に伝えるなど、後継者の育成にも力を入れていきたいと考えています。

最後に、総監取得にあたりご協力いただいた皆様に、この場をお借りして改めて感謝いたします。